



▲芸能発表会で踊りを披露する皆さん



▲赤羽根夏祭り(盆踊り)の様子

地域の話題

# 赤羽根校区

## 誰もが参加できる楽しい校区

恵まれた自然環境の中で「赤羽根らしさ」「安全・安心」をテーマにまちづくりを行っている赤羽根校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。

### ふれあいイベント

昨年7月、赤羽根海岸のロコパークで「赤羽根夏祭り」を行いました。盆踊りや花火大会、夜店などを通して、夏の夜の涼と校区民のふれあいができました。また当日は、サーフィンの世界大会が開催されたこともあり、市外から訪れていた方々も一緒に参加し、とても盛り上がりました。

さらに10月には「市民館まつり」を開催しました。芸能発表会や絵画、書道、生け花、盆栽、押し花などの作品が展示され、日ごろの市民活動の成果が伝わる素晴らしい演技や作品ばかりでした。また、区会や各種団体によるうどんや焼きそば、みたらし団子などのバザーや、子どもを対象としたゲームも大人気でした。

### 防災・防犯活動の取り組み

こうした各種イベントのほか、今年度は「安全・安心に暮らせるまちづくり」に向けた取り組みにも力を入れてきました。

赤羽根校区には、赤東区・赤中区・赤西区と3つの自治会があり、それぞれの区会が中心となり、平成24年度に「地震・津波避難マップ」を作成しました。校区における住宅地域の海拔は低くありませんが、生活圏が海に近いことや、サーフィンなどで訪れる観光客も多いことから、巨大地震に備えるため、作成した避難マップを各戸に配布しました。

また、サーファーや地域住民による避難訓練も行い、日ごろから防災意識の高揚に努めています。

防災活動のほかにも、子どもたちが安全に下校できるよう、小学生の下校時間に合わせ、PTA・子供会・校区コミュニティ協議会役員による下校パトロールも行っています。

また、最近お年寄りの事故が多発していることを受け、田原警察署から講師を招き、高齢者向けの交通安全講話を開催しました。さらに、夜間の交通安全対策として、校区コミュニティ協議会から全戸に反射たすきを配布し、校区全体でお年寄りの事故の抑制、交通安全の意識を高めようと呼びかけています。



▲下校パトロールの様子

赤羽根校区では、これからも「赤羽根らしさ」を大切にして、お年寄りから子どもまで、誰もが参加できる楽しい校区行事を開催し、安心・安全で暮らしやすいまちづくりを進めていきます。